

在宅復帰率(回復期病棟)

回復期リハビリテーション病棟入院料を算定された患者様が在宅復帰された割合を示しています。ここでは自宅だけでなく、居住系介護施設等(介護医療院を含める)、有床診療所(介護サービスを提供している医療機関に限る)へ直接退院された場合、在宅復帰されたこととなります。(死亡退院、7日以内の再入院患者、一般病棟への転棟・転落は分子分母から除外)

【当院の活動】
 院内外より転入を受入れ、定められた期間内に身体機能改善や生活行動訓練を行うと共に、ご本人・ご家族の意向に寄り添いながら医師や看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、栄養科など多職種が連携し、在宅準備や転院先の相談などを行います。月に1度、ご本人・ご家族と多職種で面談を行い、現状と目標を共有します。必要時は地域の支援担当者と連携をしてサービス調整を行い、円滑で効果的な退院支援を行う

対象病棟： 回復期病棟

計算式：

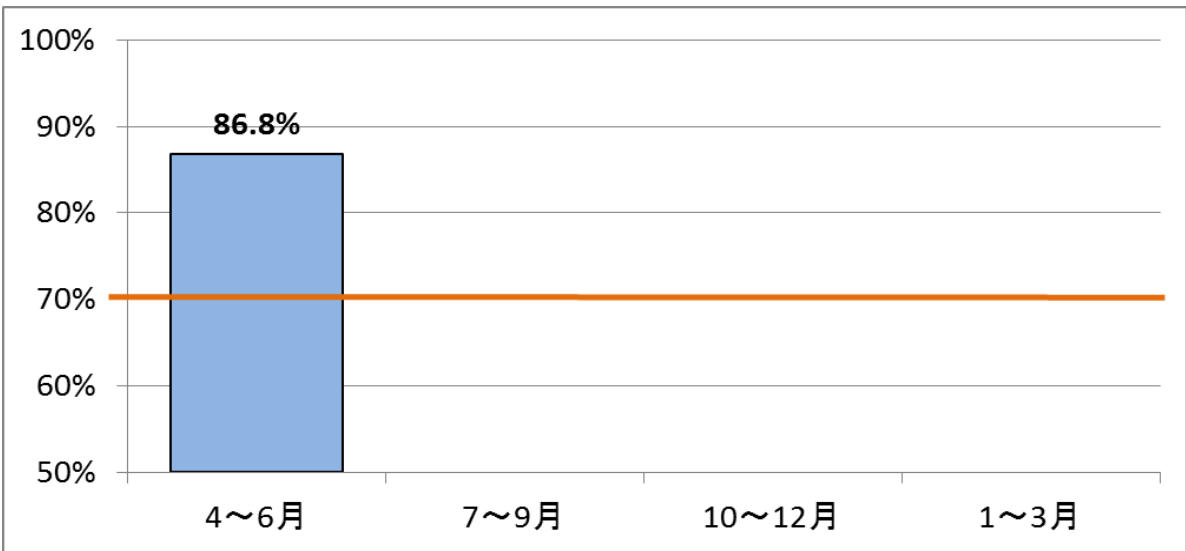
$$\frac{\text{分子) 退院先が「自宅・居住系介護施設」の患者数}}{\text{分母) 回復期病棟からの退院患者数}}$$

※回復期リハビリテーション病棟入院料1における在宅復帰率要件は**70%**

対象期間： 3ヵ月

データ件数:

	2022年度			
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
分子	33			
分母	38			
復帰率(%)	86.8%			



●年度別比較

データ件数:

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
分子	157	151	153	150	154	135	152	133
分母	187	175	191	182	176	155	170	153
復帰率(%)	84.0%	86.3%	80.1%	82.4%	87.5%	87.1%	89.4%	86.9%

